

## 山下設計 創立95周年特集号

## 「環境」＝建築と人間の関係性を創り出す提案

近年、各産業分野における省エネ技術が急速に進展し、「環境」への取り組みは脱炭素の側面から捉えられることが一般的です。しかし、建築の分野において「環境」という概念が強く意識されるようになったことは、新型コロナウイルス蔓延により、日本社会で進まなかった働き方改革やテレワークが急激に進んだことと無縁ではありません。以前は当たり前であった対面でのコミュニケーションがウェブなどに置き換わり、建築を介して人々が集まることの意味が問われています。「環境」という言葉の意味は、気候変動への取り組みのみではなく、情報環境・働き方などの社会的変化の中で、建築空間と人間の活動そのものの在り方を再構築していくことと認識されるようになりました。

建設通信新聞において、山下設計の近年の「環境」に対する取り組みを振り返り、「建築と人間の関係性を創り出す提案」という視点から、100周年以降の未来の方向性を示します。



早稲田大学37号館 早稲田アリーナ (撮影: 新建築社)

## 建設通信新聞 第二部

## 山下設計の「環境」への取り組み

気候変動への取り組みとして、建築において低炭素という課題が取り上げられてから多くの時間が経ち、現在において「環境」への配慮は設計の必要条件として認識されています。「環境」という課題に対する山下設計の対外的な姿勢として、2022年に一般社団法人環境共創イニシアチブ(SI I)のZEBプランナー登録に際して、「2025年のZEB受注目標(50%以上)」を公表し、1年目の2022年度の実績として、35%のZEB化を達成しています。

山下設計としては95周年を迎えるにあたり、この数値的な目標を達成し、来る2028年の創立100周年以降の未来の姿として、2050年を待たずにストック平均でZEB水準省エネ性能確保することに加えて、「環境」という意味を社会的に広く捉え、新たな方策を提示することが必要です。

## 「環境」＝建築と人間の関係性

社会全体の中で、建設活動が排出するCO<sub>2</sub>排出量の割合は全体の約4割を占めると言われています。現在は建築の環境技術による省エネ効果のみに議論が集中しがちですが、低炭素化の実現には、将来的な人口変化や情報環境・働き方などの社会的変化に目を向けた取り組みに、設計者として積極的に関わっていく必要があります。

近年の大きな社会的変化として、新型コロナウイルス蔓延による未曾有の混乱が、日本社会で進まなかった働き方改革やテレワークを急激に推し進めたことが挙げられます。対面での対応を前提としていた様々なビジネスやサービスがウェブなどに置き換わり、空間を介して人々が集まることの価値が変化しました。私たちは「環境」という言葉の意味が、単なる気候変動への取り組みから、空間と人間の活動そのものの在り方を再構築していくものへと変わったと認識しています。

山下設計は創業以来、建築と社会との関わりを意識し、社是である「クライアントへの誠実」とは、「クライアント＝施主だけではなく、社会からの要請」と捉え、デザインを包含した総合的価値観から建築や都市のつくり方やシステムに関わり、プロジェクトの価値を高める姿勢としています。

「環境」という課題に対しても、私たちはこの考え方に立ち返り、計画の企画や基本構想の段階からクライアントの要求事項の整理に関わることで、建築と人間の関係性そのものをデザインする総合的な提案を行うための4つの行動指針を提示します。

## ①人間工学に基づく新しい指標を用いた提案

快適性やエネルギー消費量などの既存指標では、評価できない生産性・経済性・満足度・幸福感などの人間の本質的な価値について、建築分野以外の視点に基づく知見を用いて、定量化した空間提案を行います。デジタル技術やSET(温熱感指数)やPMV(予測平均申告)などの環境指標を用いて、空間内の人的アクティビティの状態や今まで評価できていなかった身近な環境変化を可視化し、人間と空間の在り方を提案します。

## ②資産価値としての環境提案

ESG投資においては、不動産価値を向上させるために「人間の創造的環境を如何に整えるか」ということが大きな課題となっています。この背景には、オフィス運営費の内、60%超を占める人件費の割合に対し、施設運用費はその約1割と遥かに少ないという実態があります。この課題への回答として、私たちはハード面の空間提案のみではなく、リモートワークなども含めた勤務体系との関係や、知的生産性としての学習効果の定量化により、働く人々の活動とそれを取り巻く環境の相互作用を紐解き、それを空間デザインに取り込むことを目指します。

## ③事業性を踏まえたストック改修提案

近・現代建築として一定の評価を有する建物の保存を目的とした改修から、今後は普通の建物を長寿化し、環境性能を改善するストック改修が必須となります。私たちは、単なる長寿化や環境性能のみではなく、人口減少という変化に 대응する社会コストの削減を意識し、事業性を含めた総合的なりサーチに基づく、改修後の新しい価値を提案します。

## ④地域社会に根差した木材利用提案

これからの木質化の推進においては、建設地域の木材調達事情や木材産業の特性に目を向ける必要があります。私たちは、技術的加工を前提としたエンジニアリングウッド(EW)よりも、製作時のCO<sub>2</sub>の排出量が少なく、計画地周辺で入手しやすい無垢材の使用を推進し、地域の森林・林業へ貢献するとともに、地場産材の活用を通して、人と地域の新しい関係性を創り出します。

受賞作品

BCCS賞

山下設計が設計した近年の作品では、日本建設業連合会のBCCS賞を2018年に「高崎アリーナ」、19年に「立命館大学大阪いばらきキャンパス」と「市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリー(愛称・ナセBA)」、22年に「早稲田大学37号館 早稲田アリーナ」と「GREEN SPRINGS」が受賞した。社内表彰「山下賞」の受賞作品と合わせて紹介する。



GREEN SPRINGS

①立飛ホールディングス②東京都立川市③S・RC・CFT・SRC造地下1階地上11階建て延べ7万6,297㎡④大林組⑤20年2月⑥マスターデザイン(スタジオタクシミス、ランドスケープ・プラス)、基本・実施設計(山下設計・大林組JV)、PM・監理⑦根本写真事務所



中嶋 大輔

人々の活動が重なり「交動」する縁側空間

木の柔らかな表情を持つ軒を張り出させ、建物内部と外部空間が融合する縁側のような中間領域を設けて、外部環境・内部空間、広場・各棟の機能、人と人など、様々なコンテンツが重なり合い「交動」する空間づくりを行った。広場側に加え、歩行者専用道側にも設けた縁側空間は、街と街区を緩やかにつないでおり、街区内で完結することなく街と共にあり、街の一部となる景観を生み出している。(本社事業企画部部長)

早稲田大学37号館 早稲田アリーナ

ZEB Ready



①早稲田大学②東京都新宿区③SRC・SRC造地下2階地上4階建て延べ1万4,028㎡④清水建設(工事一括)、川北電気工業(電気)、新菱冷熱工業(空調)、城口研究所(衛生)⑤18年11月⑥総合監理(早稲田大学キャンパス企画部)、基本計画・基本設計、実施設計・監理(山下設計・清水建設JV)⑦新建築社



水越 英一郎

地中熱を活かしたZEB Readyの実現

戸山キャンパスに建つ、最大収容人員約6,000人の多機能型スポーツアリーナを中心とする複合施設。建物の大半を地中に配置し、その地表に「戸山の丘」と名付けた地域にも開かれた新たな交流・活動拠点を創出した。エネルギー面

では地中熱を利用した空調・換気システムを構築し、メインアリーナと付帯施設は「ゼロエネルギーアリーナ(試算値)」、建物全体ではZEB Ready(BEI=0.39)を達成している。(ジェネラルアーキテクト)



高崎アリーナ

①高崎市長②群馬県高崎市③S一部RC・SRC造地下1階地上3階建て延べ2万6,312㎡④戸田建設⑤16年12月⑥設計・監理⑦川澄・小林研二写真事務所



窪田 研

鉄道に向けて開き、都市発展を可視化する「自然光アリーナ」

高崎アリーナは、「人が集まり交流する都市」への転換に一躍を担う施設として期待されていた。それにこたえるべく、新幹線などに隣接する立地特性を活かし、シビックプロムナードと名づけた「交流・活動空間」を鉄道側に向けて大きく開放することで、人が流れ集まる様子が新たな都市軸を形成し、都市発展を視覚的にイメージできる構成とした。また、北側の安定採光を屋根面より導入できる「折り紙構造の屋根」を設計し、高崎アリーナの最大の目玉である「自然光アリーナ」を実現した。(常務執行役員・プリンシパルアーキテクト)



立命館大学大阪いばらきキャンパス

①学校法人立命館②大阪府茨木市③S一部SRC造9階建て延べ11万0,202㎡④竹中工務店(建築)、きんでん・住友電設・朝陽電気JV(電気)、三晃空調・新菱冷熱工業・新日本空調・高砂熱学工業JV(空調)、須賀工業・大阪城口研究所JV(衛生)⑤15年3月⑥基本設計・設計監理統括⑦フォト・ビューロー・庄野新



伊藤 玲央

真に地域の一部となる「まぜる」キャンパス

塀をなくし、大学と公園が一体になる空間構成により、真に地域の一部となるキャンパスを目指した。長さ300mでキャンパスを貫く「コンコース」を中心に、地域住民の日常利用と学生活動がまざりあい、魅力的な共存が生まれており、「多様な価値観と出会う・交流する」といったリアルな空間の持つ価値を最大化させる、今後の大学キャンパスの在り方を示す新たなモデルとなった。(本社第2設計部主管)



市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリー(愛称・ナセBA)

①米沢市長②山形県米沢市③RC一部S造地上5階建て延べ6,193㎡④金子・網代・白井JV(建築)、東北電化・タカハシ電工JV(電気)、黒澤・情野JV(空調・衛生)⑤16年3月⑥設計・デザイン監修⑦山下設計



安田 俊也

「木の外断熱」+「蓄熱」が交流を支える

豪雪地：米沢には、深い雪に閉ざされる冬でも快適な交流の場が必要である。天井が高く全体が緩やかに繋がる空間特性を踏まえ、蓄熱型の温熱環境を構築した。屋内側はRC打放しとし、躯体を蓄熱体とするために外壁は厚100mmの地場産杉材による外断熱を施した。そして、高窓が柔らかな外光を空間の中心まで導く。400年前からの蒐集本が地層のように重なる広場が図書館になった。(フェローアーキテクト)

受賞作品



立田山憩いの森・お祭り広場公衆トイレ

①熊本県知事②熊本市③木造平屋建て30㎡④ウッドィーファーム⑤21年12月⑥基本設計、実施設計、設計工事監理⑦YASHIRO PHOTO OFFICE



坂本 達典



曾根 拓也

公園風景を写し取った心地良さ

くまもとアートポリスの一環で計画された木造の公衆トイレである。計画地の立田山は、熊本市内に残された貴重な自然緑地であり、市民の憩いの場となっている。そんな場にふさわしい建築にするために、「丸太材」による自然と共生する建築を提案し、「脱炭素への貢献」「熊本林業の活性化」「景観との調和」を目指した。出来上がった空間は、自然豊かな公園の風景を写し取ったような心地の良いものとなった。

(坂本—本社第3設計部主任、曾根—本社構造部設計部主管)



新宮市文化複合施設(丹鶴ホール)

①新宮市長②和歌山県新宮市③RC・SRC・S造5階建て延べ6,428㎡④村本建設・三和建設JV(建築)、勝山電気工事・新宮電気工事・椿本商会JV(電気)、協和水道設備商会・中村冷機JV(機械)⑤21年6月⑥設計・監理(山下設計・金嶋一級建築設計事務所JV)⑦川澄・小林研二写真事務所



笹岡 歩

景観デザインと環境デザインを重ね合わせる

歴史的景観や周辺の住環境に配慮した景観デザインと、環境の建築的骨格を一体化することを試みた。ホール構造体を円環状の空間(一余白)とその上部の図書館で包み、外部と熱的に絶縁することで、室内環境を安定させる蓄熱体として活用した。また、建物を水平に分節し、周囲の地域資産との綾取りで生まれる線分を外形に取り込むことで、ボリュームのずれを生み、日射を制御した。

(本社第一設計部主管)



芳賀赤十字病院

①日本赤十字社②栃木県真岡市③S造6階建て塔屋1層延べ2万8,977㎡④大成・中村土建・増山JV(建築)、関電工・トクシンJV(電気)、新菱・岩原JV(空調・衛生)、シーエネジー・東洋アクアテック(ES)⑤18年11月⑥基本設計・実施設計・工事監理⑦カ・ドーロ佐々木徳徳



菊池 悠二

いつの時代にも地域の医療に寄り添うことができ、患者の快適性・安心を追求したモデル病院

計画の特徴は限られたスタッフで機能を最大限引き出す低層十字型平面である。各部門に最短でアクセスできる平面により動線を短縮し、病棟は3看護+診療機能とすることで入院治療の向上と機能変化にも追従可能な柔軟性のある骨格とした。また、患者に近くすぐ駆けつけることができるホール型のステーションにより見守られている安心感があり、より添うことができる空間づくりを徹底した。

(第一設計部)

山下賞

組織力と設計品質の向上

山下設計の社内表彰制度である「山下賞」は、組織力と設計品質の向上を目的に毎年実施しており、山下賞2022では「社会の様々な課題に回答し、新しい価値を生み出す建築デザイン」をテーマに審査し、「新宮市文化複合施設(丹鶴ホール)」「立田山憩いの森・お祭り広場公衆トイレ」の2作品が輝いた。山下賞2019には「芳賀赤十字病院」と「早稲田大学37号館 早稲田アリーナ」、山下賞2020は「GREEN SPRINGS」と「志太広域事務所組合斎場会館『星山の苑』」が対象となった。このほか近年の入選作品、業績・技術の受賞を一覧で紹介する。

受賞一覧

作品	新宮市文化複合施設(丹鶴ホール)	2022年
	立田山憩いの森・お祭り広場公衆トイレ	2022年
	GREEN SPRINGS	2020年
	志太広域事務所組合斎場会館「星山の苑」	2020年
	早稲田大学37号館 早稲田アリーナ	2019年
	芳賀赤十字病院	2019年

作品・入選	宇佐市安心院地域複合支所	2022年
	大垣市庁舎	2022年
	大津町庁舎	2022年
	平塚市立相模小学校	2022年
	伊豆の国市斎場「椰の杜」	2021年
	一関市東山小学校	2021年
	グッドマンビジネスパーク イーストゲート	2021年
	東レ未来創造研究センター 融合研究	2020年
	伊予市文化交流センター「IYO夢みらい館」	2020年
	太平洋精工新本社工場	2020年
	ならはスカイアリーナ	2019年
共立女子学園2号館	2018年	
NHK仙台放送会館	2018年	

業績・技術	九州支社におけるZEB 化への取り組み実績	2022年
	公共建築における地元産木材の発注から活用の実績と製材による木造架橋技術(宇佐市安心院地域複合支所)	2022年
	YS.Wiki-知識の共有と蓄積を目的とした情報プラットフォームの構築	2019年
	新建築山下設計特集号編集委員の活動	2019年



志太広域事務所組合斎場会館「星山の苑」

①志太広域事務所組合②静岡県焼津市③RC一部S造2階建て延べ4,722㎡④橋本組・近藤建設工業JV(建築)、宮本工業所(火葬炉)、朋電舎・富士電工JV(電気)、菱和設備・大洋アレスコJV(空調)、エクノスワタナベ・青島ポンプ工業JV(衛生)、LIGHTDESIGN INC.(照明監修)、STGK Inc.(外構監修)、宮本工業所(炉設計)⑤20年3月⑥設計・監理⑦川澄・小林研二写真事務所



中野 裕正

まちとつながるお別れの場

斎場は倦厭され日常から隔絶されがちな建物であるが、誰もが必要とする美しい人生のプロセスの場でもある。超高齢多死の現代で再整備される斎場の公共性・葬送の文化性を見つめ直し、日常の暮らしと交わる、地域と共にある斎場を目指した。まちの風景を取り込みながら、会葬者プライバシーや近隣環境にも配慮した「まちとつながるお別れの場」となっている。

(本社企画開発部シニアアーキテクト)

業務施設・庁舎

岡山市新庁舎

ZEB Ready

①岡山市長②岡山市③S一部SRC・RC造(中間層免震、制振構造)地下2階地上17階建て延べ5万6,318㎡(1期)④大成建設・ライフデザイン・カバヤ・重藤組JV(建築)、中電工・旭電業・カジノンJV(電気)、ダイダン・テクノ菱和・山陽技研JV(空調)、斎久工業・中央設備・五洋工業JV(衛生)⑤26年5月(1期)⑥設計・監理(山下設計・丸川建築設計JV)⑦山下設計・丸川建築設計JV



有山 英伸

「人」が集まり、「まち」が繋がり、「歴史」を重ねる「丘のような庁舎」

岡山市新庁舎は、将来整備予定の新大供公園及び市民ひろばによる緑と一体となった「丘のような庁舎」として、「人」が集まり、「まち」と繋がる場となる。執務室フロアの床面積を可能な限り大きくし、階数を削減することで外周面積を極力小さくするとともに、日射負荷を受けやすい東西面にコアを配置し、執務空間への熱負荷を抑制している。加えて、省エネに効果的な環境技術を採用することにより、ZEB Readyの認証取得、CASBEE-Sランク(自己評価)を達成している。

(本社第2設計部主管)



大塚 直 小俣 慶太

意匠・構造・環境を統合したデザイン

RC格子フレームとCLT耐震パネルによる「外殻構造」をファサードにもつ庁舎。この架構は免震構造の効果高めるとともに、格子フレームは日射遮蔽、CLTパネルは断熱性能を高める役割を持つ。この外皮構成を基本に天井放射空調などの設備システムを組み合わせZEB Readyを達成。CLTによる木材使用量は約300㎡、炭素貯蔵量は約200t-CO<sub>2</sub>。

(大塚=本社第2設計部主管、小俣=構造設計部主管)



長崎市庁舎

ZEB Ready

①長崎市長②長崎市③S・RC一部SRC造(CLT耐震パネル、免震構造)地下1階地上19階塔屋1層延べ5万1,752㎡④清水・西海・長崎土建JV(建築)、関電工・イナヅマ電気・長崎電建工業JV(電気)、長崎電気・三工電機JV(通信)、新菱・フジエア・松栄JV(空調)、旭管・日冷・長与管工JV(衛生)、池田建築工業(内装ユニット)、山下電工社(電気2)、池田建築工業(外構)、松本豊松園(植栽)、三工電機(議場設備ほか)、長崎電建工業(情報設備)⑤23年3月⑥設計・監理(山下設計・建友社設計・有馬建築設計事務所JV)⑦エスエス

直近5年間の主要作品

直近5年間の主要作品を庁舎、オフィス、医療、研究所、文化、教育、スポーツ、物流、生産の9分野別に大別し、設計担当者のメッセージとともに紹介する。



益城町新庁舎

ZEB Ready

①益城町長②熊本県益城町③RC一部SRC・S造4階建て延べ7,668㎡④三井住友建設・岩永組JV⑤23年3月⑥設計・監理(山下設計・バオプラーン熊本JV)⑦スタジオフジ

創造的復興をけん引するシンボル



古元 晃子

熊本地震からの復興をけん引するシンボルであり、防災拠点としての機能や情報拠点としての機能を備えた庁舎。被災した町の中心部での区画整理事業と合わせて、新庁舎、街区公園、復興まちづくり支援施設および交通広場は、一体的な利用や回遊性の向上を図り、緩やかに空間をつなぐ計画とした。庁舎の形態は計画地である丘陵地の南斜面の大地に馴染む低層のひな壇状とした。

(九州支社設計監理部部長)



八幡市新本庁舎

①八幡市長②京都府八幡市③S一部SRC・RC造(柱頭免震)7階建て延べ1万1,839㎡④奥村組⑤22年8月⑥設計・監理(奥村組・山下設計JV)⑦奥村組・山下設計JV

将来を見据えた「市民とともにある施設整備」



寺田 知之

八幡市新本庁舎は既存庁舎の減築改修を含めた施設環境整備の一角を担う庁舎である。将来的な市役所の担う役割を踏まえ、市民の交流や活動を育む空間整備を重視した「市民とともにある庁舎」となった。南北軸配置である庁舎の東西面開口部には日射負荷を抑制するルーバー設置や太陽光発電設備など、室空間の快適性確保と環境配慮を両立する。

(関西支社設計監理部チーフアーキテクト)



香南市新庁舎

①香南市長②高知県香南市③S一部SRC造(CLT耐震壁付きラーメン構造、基礎免震)7階建て延べ7,641㎡④飛鳥・四国開発JV(建築)、クリエイト・国吉電気JV(電気)、イリックス・百田設備JV(空調、衛生)⑤20年2月⑥設計・監理(山下・みやび設計JV)⑦エスエス

県産材CLTを耐震壁として利用した免震庁舎



近藤 隆幸

香南市庁舎は、基礎免震構造を採用した地上7階建ての庁舎である。1階と2階は窓口等の市民のスペース、3階からは執務室等の行政のスペースとなっている。2階から上部の外周廻りに高知県産材を使用したCLT耐震パネルを配置することにより耐震性能を高めた計画としている。CLT耐震パネルは施工中の風雨等により、変色や性能低下に配慮し、外装材の施工後に設置可能な接合部のディテールを採用した。

(関西支社設計監理部主管)



当麻町役場

①当麻町長②北海道当麻町③木造2階建て延べ2,669㎡④盛永組・大野土建・石川建設JV(建築)、西山坂田電気(電気)、大洋設備(空調)、大洋設備(衛生)⑤18年12月⑥設計・監理(山下設計・柴滝建築設計事務所JV)⑦グレイトーンフォトグラフス

「町産材」を活用した汎用性が高く地元の技術でできる木質空間



柴田 俊介

流通規格の無垢カラマツ製材により大空間を実現した町産材100%の木造庁舎である。庁舎の中心に位置する執務室は、120角の細い柱が尺寸モジュールで林立することで、絶妙な領域間を生み、高天井の空間に落ち着きと快適性を与えている。自立循環型の木造建築のモデルとして、人材の育成・確保そして建設・維持管理まで「地域における汎用性」を強く意識し計画した。

(本社企画開発部主管)

# 業務施設・庁舎



大津町庁舎 ZEB Ready

①大津町長②熊本県大津町③RC造一部S造4階建て延べ7,470㎡④清水建設⑤22年3月⑥設計・監理(山下設計・パオプラン熊本JV)⑦エスエス

## 創造的復興のシンボルとなる新庁舎



江島 秀典

熊本地震からの創造的復興のシンボルとなる「大津の未来を支え、町民と共に歩む、安全・安心な庁舎」として計画した。市街地から繋がる北側の広場と向き合うように設けた3層吹抜けのエントランスホールを諸室が「コの字型」に囲み、全館が一体感のある空間構成とした。水平庇、県産木材を活用した日除けパネル、吹抜け空間を活用した自然採光等の手法によりZEB Readyを達成した。(九州支社設計監理部主管)



新城市庁舎

①新城市長②愛知県新城市③S造一部SRC造(基礎免震)4階塔屋1層延べ6,984㎡④鹿島建設⑤18年4月⑥設計・監理⑦リフレクト

## ECIにより地元産業を活用した「環境共生庁舎」



原 博

国土交通省の多様な入札方式モデル事業としてECI方式を導入した庁舎建設計画である。ECIの仕組みに「市内事業者の技術等活用検討会議」を取込むことで地元産業の活用を図った。市内の80%強を緑豊かな山間部が占める地域性から、内外装や家具、受水槽、ドアハンドルなど、さまざまな形で「新城市産木材」を活用し、木による温かみのある、地産地消や環境都市の実現に寄与する庁舎とした。(企画営業部門副部門長)

大垣市庁舎



①大垣市長②岐阜県大垣市③S造(基礎免震構造)8階塔屋1層延べ2万0,855㎡④岐建・TSUCHIYA JV(建築)、ホクエー・小野電JV(電気)、三建・松井JV(空調)、林・加納JV(衛生)⑤20年10月⑥設計・監理(山下・車戸JV)⑦エスエス

## まちに開かれた地域活性拠点の創出



伊藤 潤

豊富な地下水に恵まれ、歴史的資産が数多く残る城下町にある庁舎である。川沿いの公園や遊歩道と市民の生活動線につながる都市軸を敷地内で結びつけることで、まちなかの回遊性を高めるまちづくりのハブとなる庁舎を目指した。結びつきを強めた外部空間に沿って、イベント広場や多目的スペース、テラスを立体的に配置し、多様な市民活動の舞台を設けることで、賑わいを紡ぎまちに開かれた新たなシンボルとした。(中部支社設計監理部副グループ長)



千葉県企業局本局新庁舎(仮称) ZEB Oriented

①千葉県企業局長②千葉市③S一部SRC造(中間層免震構造)地下1階地上9階建て延べ1万3,299㎡④大成建設・旭JV(建築)、フィデス・高率JV(電気)、京葉・池田建設JV(空調)、ステアリスト(衛生)⑤25年7月予定⑥設計・監理⑦山下設計

## 新たな時代の県の発展を支える、まちと行政をつなぐ庁舎



山崎 貴幸

幕張地区に分散する企業局の各部署を、千葉市中央区の県庁域に集約し、本局機能を高める庁舎の計画である。時代の変化や業務形態の変化に伴う組織改編などに柔軟に対応できるフレキシビリティを確保するとともに、自然環境と調和し、まちに開かれた庁舎を目指した。また、中間層免震の採用などにより、地震や水害等の災害発生時に、防災拠点庁舎として機能維持が可能な計画とした。(本社第2設計部主管)



福岡第2法務総合庁舎

①国土交通省九州地方整備局営繕部②福岡市③SRC造地下1階8階建て延べ2万4,296㎡④安藤ハザマ(建築)、日鉄テックスエンジ(電気設備)、三晃空調(機械設備)、東芝エレベータ(昇降機設備)⑤19年9月⑥基本設計、実施設計、設計意図伝達⑦エスエス

## 民間と公共、商住と司法が一体となった賑わい拠点



河野 泰造

福岡第2法務総合庁舎は、隣接する複合施設や裁判所とともに、民間と公共、商住と司法が一体となった六本松駅前の新たな賑わい拠点である。外観は斜め形状のRC柱とPCa庇による深い陰影を持つ水平垂直の均整なデザインとし、司法施設の顔づくりを行った。斜め柱は室内から周辺景観へ向けて視線を誘導し、PCa庇は室内に柔らかな間接光を導入するライトシェルフとして機能している。(本社企画開発部主任)

堺市総合防災センター



①堺市長②堺市③RC・S造2階(防災啓発施設)、S造2階(災害活動支援棟)、S造6階(救助訓練棟)、RC造3階(水難救助訓練棟)、RC造地下2階地上5階(総合訓練棟)の総延べ7,825㎡④松村組・日本土木(建築)、藤井電機・Raing(電気)、永安設備・サニコン(空調)、日管(給排水)、大阪ガス(ガス)、丹青社(展示)⑤21年10月⑥設計・監理(山下・スペースアートJV)⑦伸和

## 「エコ×BCP」環境モデル都市・堺市の防災拠点



河野 力

地域の防災教育のための学習施設から、実際の災害現場を想定した本格的な消防訓練まで、多様な教育訓練環境を備え、災害時には市の災害対策の拠点として機能する。環境モデル都市・堺市の防災拠点として、消防訓練で使う水の循環再利用システムをはじめ、太陽光や雨水などの自然エネルギーを活用し、災害時に少ないエネルギーで機能できる施設づくりを行っている。(本社企画開発部シニアアーキテクト)

宮崎県防災庁舎



①宮崎県知事②宮崎市③S一部RC造(柱頭免震構造)地下1階地上10階建て延べ2万5,155㎡④戸田・吉原・大和開発JV、上田工業、坂口建設、都北産業(建築)、三桜電工・電工社・小田電業JV、九南(電気)、江坂・富士建・藤岡JV(空調)、エイワ・四季JV、江坂設備工業(衛生)⑥20年8月⑥設計・監理(山下・岩切・ごとう計画JV)⑦エスエス

## 県民に開かれた防災の拠点



岸野 泰典

県民の生命と財産を守る災害応急対策の司令塔としての機能や、国や市町村等の関係機関との連絡調整など、大規模災害発生時に重要な機能を果たす防災庁舎の計画である。宮崎県産スギを使用したCLT耐震パネルを活用し、スギ素材生産32年連続日本一の宮崎県にふさわしい庁舎を目指した。また、昭和元年に竣工した県庁5号館を曳家にて保存する等、周辺の歴史的景観との調和を図った。(本社構造設計部主任)

業務施設・庁舎



福島県警察本部庁舎

①福島県知事②福島市③SRC造(免震構造)7階建て塔屋2層延べ2万4,035㎡④青木あすなろ建設(建築)、大槻電設工業・広栄電設JV(電気設備)、大槻電設工業(弱電設備)、倉島・温調JV(給排水設備)⑤18年2月⑥設計・監理⑦小林・川澄研二事務所

県民の安全・安心を支える有事の自立性を高めた警察本部庁舎



戸邊 亮司

警察庁舎として有事の自立性を高めるために、高層棟屋上と低層棟の屋根・壁に可能な限り太陽光発電パネルを設置した。2階に配置した武道場にはスロープによるアクセスを確保し、災害時対応スペースとした。環境負荷を考慮して、高層棟の南面はバルコニーと柱梁の格子状、東西面は縦ルーバーを基調とした。さらに低層棟東西面にも同じ意匠を継承し、建物全体の統一感を持たせた。(本社第1設計部主管)



長崎警察署

①長崎県知事②長崎市③RC一部S・SRC造7階建て延べ8,791㎡④戸田・上滝・中嶋JV(建築)、長崎電業・イナヅマ・長崎電建工業JV(電気)、チョーエイ・フジエアテックJV(空調)、フジエアテック・チョーエイJV(衛生)⑤19年12月⑥基本設計、実施設計、工事監理(意思伝達)⑦エスエス

長崎駅周辺地区計画B地区の顔となる「開かれた警察署」



山口 直希

三方が道路、線路と川に面し、各々に長崎らしい顔を向けた「開かれた警察署」とした。建物骨格を現した簡潔な外観とし、隣地側の南にコアを配置して開口面積を抑え、東西には日射制御と長崎らしさを両立するレンガルーバーを設けることで、熱負荷を低減した。また、太陽光発電設備や雨水利用等の再生可能エネルギーを活用し、消費エネルギーを抑えCO2排出量を削減した。(中部支社設計監理部主管)



長崎県警察本部庁舎

①長崎県知事②長崎市③RC、S造(免震構造)8階建て塔屋1層延べ2万1,725㎡④鹿島・上滝・森美JV(建築)、九州テクノ・研進・三信JV(空調)、旭管・長与管工JV(衛生)、三恵電業・長崎電建工業・MHPSCSJV(電力)、三恵電業・長崎電建工業JV(通信)、吉次工業(内装ユニット)⑤17年11月⑥基本設計、実施設計、工事監理(山下設計・建友社設計・有馬建築設計事務所JV)⑦エスエス

開かれた警察本部庁舎



三浦 正徳

本計画は、「丘のような庁舎」をコンセプトに、先行した県庁エリアと調和するデザインとした。外観は、行政庁舎と対をなす建築として階高を揃え、各階の庇が深い陰影を持つ建築とした。隣接する防災緑地に対しては、緑地をなだらかにマウンドアップし、庇の屋上緑化と連続性を持たせ親和性を高めた。エリア全体の風景に溶け込んだ、開放的で親しみやすい警察本部庁舎は、従来と異なる新しい環境を実現している。(本社社長室室長)



NHK松江放送会館

①日本放送協会②松江市③RC一部S造(免震構造)3階建て塔屋1層延べ5,326㎡④-⑤22年7月⑥設計・監理⑦小林・川澄研二事務所

宍道湖の畔に佇む開かれた放送会館



谷田 要介

水の都松江市の中心、宍道湖畔に建つ放送局である。NHK会館としての機能性を確保しながらも、地域の個性を顕在化する事を目指した。局前広場・公開エリア・公開スタジオは宍道湖周辺のオープンスペースと繋がる。展望テラスやオフィスからは宍道湖の眺めを楽しめる。夕日は絶品である。宍道湖の水平線に佇む新会館が、NHKと共に地域に親しまれていくことを期待している。(本社第2設計部主管)



東京都立多摩産業交流センター(愛称:東京たま未来メッセ)・東京都八王子合同庁舎・八王子市保健所

①東京都知事②東京都八王子市③S一部SRC造地下1階地上7階建て延べ2万9,186㎡④関東・辻・神稲JV(建築)、北陸電気工事(電気)、東洋熱工業(空調)、菱和設備(衛生)、日立ビルシステム(昇降機)⑤22年2月⑥設計・監理

中心市街地に大きな「余白」をつくる



津田 誠

人の往来が多い駅前の中心市街地には、様々な人・モノ・情報が集まる。そこに何も無い自由な余白をつくりたいと考えた。東京たま未来メッセのメインとなる平土間の展示ホールは、それに連続する屋根付き広場を介して街と連続し、内外空間が一体となった大きな広場へと拡張できる。その大きな余白は、イベント機能を拡張すると共に、人・モノ・情報が集まることの意味を拡大する。(本社第2設計部主任)



NHK仙台放送会館

①日本放送協会②仙台市③S一部SRC造(免震構造)地下1階地上7階建て塔屋2層延べ2万3,630㎡④大林組・橋本店JV⑤17年5月⑥設計・監理⑦小林・川澄研二事務所

地域に開かれた情報の拠点、使いやすい災害に強い放送会館



有馬 大蔵

地域の人達が利用可能な公開スペースは、定禅寺通りと錦町公園に面し、街に開いた配置とガラス張りとし、開かれた放送会館を目指した。放送関連諸室は、高機能なスタジオを備え、制作者、技術者の様々な要請に応えるため、整形かつ柱の少ない平面形状とした。また、東日本大震災の経験から、新会館はどのような状況においても放送機能を維持する信頼性の高いBCP計画と高い耐震性能を持つ建物を実現した。(本社第1設計部チーフアーキテクト)

# 業務施設・オフィス



富士食品工業  
本社社屋

①富士食品工業  
②横浜市③RC  
造4階建て延べ  
2,986㎡④大成  
建設⑤23年2月  
⑥設計・監理⑦  
川澄・小林研二  
写真事務所

## 身体感覚を刺激する、ゆらぎのあるワークプレイス



笹岡 歩



立石 直敬

横浜の住宅街に建つ、食品メーカーの本社ビル。日影などの法規制に起因する「八角形の平面形状」、「不規則な構造フレーム」、自然の光や風の変化を感じる「吹き抜け+トッライト」などの工夫により、ゆらぎのある環境を形成した。従来の均質な空間を脱却し、多様で心地よい空間を実現することで、働く人の身体感覚を刺激し、知的生産性を向上することを試みた。(笹岡＝本社第1設計部主管、立石＝同設計部主任)



TDKテクニカル  
センター-W2棟

①TDK②千葉県市川市③PCa PC一部RC・S造5階建て塔屋1層延べ1万4,439㎡④大林組(建築)、トーエネック(電気)、新菱冷熱工業(空調・衛生)⑤19年6月⑥設計・監理⑦山下設計、エスエス

## 広い大平面の執務空間で、場所ごとに多様な環境を生む



坂東 健太

TDKテクニカルセンター-W2棟は、低層+大平面のワークプレイスである。広いフロアに多様な場所を創り、それらを回遊できる都市のような多様性を持つ施設骨格とした。タスク・アンビエント方式を用いて場所ごとに適切な空調・照明環境を構築し、エネルギー利用効率を向上した。PC梁の形を工夫し、床下空調ダクトや照明の天井反射面に活用した、意匠・構造・設備を統合した計画である。

(本社第2設計部主任)



JR金沢駅西  
第三NKビル

①JR西日本不動産開発②金沢市③S造8階建て延べ6,154㎡④清水建設⑤19年10月⑥設計・監理⑦エスエス

## 金沢の都市景観を映すガラスファサード建築



森本 光亮

敷地は新幹線開通により活性化する金沢駅周辺に位置し、1階に店舗、各階にオフィスが入居する8階建ての建築である。将来の建物更新を柔軟に対応する仕上げと設備計画を採用するほか、幅50cmの大通りに配慮して金沢らしい奥行きのある庇を各階に設けるなど、水平を基調とした意匠を計画した。木製ブラインドが透けて見えるガラスファサードは、ビル群の中で印象的な外観を示している。(関西支社設計監理部主管)



マックス大阪支店

①マックス②大阪市③S造地下1階地上5階建て延べ3,263㎡④清水建設(建築)、きんでん(電気)、三建設備工業(空調・衛生)⑤21年5月⑥設計・監理⑦伸和

## 「人」にも「環境」にも優しいオフィス



成田 慶子

マックス大阪支店の39年ぶりの建替え工事。2、3階の執務エリアには空気式放射空調を採用し、快適で省エネ性の高い執務空間を実現している。その他、簡易エアフローウィンドウによる室内熱負荷の軽減、自動制御ブラインドと自動調光照明による天井の自動明るさ調整、一部壁面への太陽光パネル設置など様々な技術を採用し、従業員の業務生産性や環境性に配慮したオフィスとなっている。(関西支社設計監理部主管)



多木化学株式会社本社社屋

ZEB Ready

①多木化学②兵庫県加古川市③RC・プレストレストコンクリート一部S造4階建て延べ3,183㎡④鴻池組⑤24年1月予定⑥設計・監理⑦山下設計

## アグリ & グリーンの共創空間



長岡 祥太

働く空間の価値を高め、新たな働き方を支援する建築と環境を統合した持続可能なオフィス建築として、自然の「光・風・水・地中熱」を積極的に利用し、心地よい環境をつくり出した。さらに、エネルギーの利用効率を上げるためには日射を遮蔽し、熱負荷を下げるのが重要と考え、外からの熱を遮り日陰をつくる軒の深いバルコニーと緑化により自然と融合した快適な働く環境を生みだし、その結果ZEB Readyを達成した。(関西支社設計監理部主任)



淀屋橋  
KAKEMビル

①科研製薬②大阪市③S造9階建て延べ3,176㎡④五洋建設(建築)、栗原工業(電気)、須賀工業(空調・衛生)⑤21年4月⑥設計・監理⑦プライズ 山崎浩治

## 小規模オフィスビルで実現する都市とのバッファー空間



小池 聡子

低層階はテナント、高層階は支店として利用するオフィスビル。低層階は横方向に分割した窓を雁行して配置し、下部窓をブラインドで閉鎖しても上部窓から常に採光が得られるよう工夫した。高層階は斜線制限による建物傾斜部を活用した心地よいバルコニーを設けた。これらのバッファーエリアを近隣からの視線を制御する統一感のある水平ルーバーで包み、製菓会社にふさわしい清潔で健康的な企業イメージを表現した。(本社第1設計部シニアアーキテクト)

医療施設・研究所



JCHO仙台病院

①地域医療機能推進機構②仙台市③S造(高層棟基礎免震、低層棟耐震構造)7階建て塔屋1層延べ3万3,011㎡④鹿島建設(建築)、ユアテック・サンテックJV(電気設備)、齋久工業(機械設備)⑤21年2月⑥設計・監理⑦エスエス

閑静な住宅地の環境に調和する



高橋 彰仁

緑豊かな住宅地としてプランディングされてきた泉パークタウンへの移転新築である。壁面後退や日影規制等の制約の中でボリュームを最大化するため、建物を低層棟と高層棟に分けた。アプローチに面する耐震構造の低層棟に健康管理センターのほかレストラン等のアメニティ空間を配置し、医療機能を免震構造の高層棟に集約配置することで構造的にも合理的な構成とした。

(本社第1設計部チーフアーキテクト)

さいたま市立病院

①さいたま市長②さいたま市③S一部RC造(免震構造)地下1階地上10階建て延べ5万4,238㎡④鹿島・斎藤工業・松永建設JV⑤19年12月⑥設計・監理⑦カ・ドーロ



堀江 伸



安心と安全のキュービックアイコンを目指して

さいたま市立病院は田園風景の広がる同市郊外に位置し、市民の安心・安全の要となる施設である。立方体の様なシルエットは、動線を合理化した正方形プランと1フロア4病棟の病棟階計画によるもので、迅速

な医療提供と高層化抑制を追求した建築計画による。また、全方位から正面性のあるデザインにより、長く市民に親しまれるアイコンを目指した。

(第1設計部主管)



仙台市衛生研究所

①仙台市長②仙台市③RC一部S造4階建て延べ5,263㎡④仙建工業・橋本店・阿部建設JV(建築)、福興電気・仙台電気工事JV(電気設備)、興盛工業所・熱研プラント工業JV(機械設備)⑤24年11月予定⑥基本設計・実施設計・工事監理⑦山下設計

市民の健康・安全を守る拠点



渡邊 匠

仙台市衛生研究所は、試験検査、調査研究および公衆衛生情報の収集・解析・提供を通して、仙台市民の健康と安全を守る役割を担ってきた。新たな研究所は、「災害時の安全性向上」「試験検査機能の強化」「職員どうしの連携強化」という3つのコンセプトに基づき、市民の健康・安全を守る拠点として、災害に強く、変化する検査ニーズにも柔軟に対応できる、安全かつ機能的な施設とする。

(東北支社主管)



成田記念陽子線センター

①社会医療法人明陽会②愛知県豊橋市③S、RC造2階建て塔屋1層延べ2,448㎡④竹中工務店⑤18年1月⑥設計・監理⑦川澄・小林研二写真事務所

市街地に建ち、街と共存する陽子線治療施設



伊藤 潤

東海地方で初めての民間病院による陽子線治療施設である。市街地に建つ陽子線治療施設として、幹線道路や住宅に面して緩衝帯を設けることで、周辺環境との調和を図った。放射線を遮蔽する大きな建築ボリュームは、街の表情を映すガラススクリーンで覆い、それ自体が街のアイコンとなっている。毎日通院する患者の不安を取り除くため、ホテルライクな内装やアートを設け、患者へのきめ細やかな配慮を行った。

(中部支社設計監理部副グループ長)



名古屋市立大学病院 救急・災害医療センター(仮称)

①公立大学法人名古屋市立大学②名古屋市③S一部SRC造(免震構造)地下1階地上8階建て延べ約2万7,600㎡④清水建設・徳倉建設JV(建築)、トーエネック・川北電気工業・中央電設JV(電気)、三機工業(空調)、三晃空調(衛生)⑤25年夏予定⑥設計・監理⑦山下設計

市民の安心・安全を担う救急・災害医療の岩



佐藤 雅彦

断らない救急の実現と災害医療の強化、および医療人育成の施設である。2階の救命救急フロアへ地上から最短でアクセスする専用スロープと大型救急ヤードを確保、搬送し易い直線型の初療エリアと迷わない回遊型のERとした。地上階にトリアージ空間として、ひろば、ピロティ、多目的ホールを一体的に計画、感染患者の分離動線の確保やエリア明確化による安全面と、ICU病室や手術室などレイアウト自由度の高いスペースを確保した。

(中部支社設計監理部グループ長)



# 文化施設・研究所



なかはく  
(中津市歴史博物館)

①中津市長②大分県中津市③RC一部S造3階建て延べ2,694㎡④末宗・豊JV⑤19年11月⑥設計・監理⑦ジェイクス 佐藤健太



茂木 一樹

## 歴史的な石垣と対峙する、街に開かれた資料館

本施設は、黒田官兵衛が築城した歴史的に貴重な中津城の石垣に面し、歴史資料の展示・収蔵・研究活動に加え、観光情報拠点として街の活性化を図るための施設である。石垣と対峙する広場を設け、その広場に建築を開くことを主眼とした。広場に面するL字型ロビーには、観光情報やギャラリー、カフェ等を配し、開放的な環境の中で街を散策するように自由に過ごすことができる。

(九州支社設計監理部グループ長)



伊予市文化交流センター  
1YO夢みらい館

①伊予市長②愛媛県伊予市③SRC一部S造3階建て1層延べ5,867㎡④合田工務店⑤20年2月⑥設計・監理⑦高橋栄生



小原 信哉

## 歴史を未来へ紡ぐ、まちなか拠点(=大屋根のトショカン)

図書館という公共空間は、誰でも受け入れる公共性や、いろんなものをつなぐ特性により、その機能を越えた存在へ拡張できる、とても特別な存在である。大きな屋根のトショカンは、外では異形と親和性という振れ幅の大きい関係を創り出すと共に、内では包み込まれた感覚・屋根が誘導する様々なつながり・居場所性が、様々な相互作用を誘発し、ヒト・施設・まちの間に波紋の重なりのような多層の関係をつくる。

(関西支社設計監理部チーフアーキテクト)



宇佐市安心院地域複合支所

①宇佐市長②大分県宇佐市③木一部RC・S造2階建て塔屋1層延べ2,997㎡④末宗組・下村建設JV(建築)、日豊工事・宇佐電設JV(電気)、八幡空調・河野設備JV(機械)⑤19年12月⑥基本設計、実施設計、意図伝達業務



山口 直希

## 地元産製材による中規模木造公共建築

耐火・耐震性能が高いRC造を組み合わせることで、地元産製材による開放的な木造の軸組工法の公共施設を実現した。設計段階で、地元産製材の活用方法や調達方法、品質管理手法の検討、試験伐採及び強度試験を実施した。それらを元に、地元産製材で確保可能な150角の製材を基準とした4本束ね柱や、3段重ね梁により、機能性を高めながら地元産製材を最大限活用した。

(中部支社設計監理部主管)



浜松市市民音楽ホール サーラ音楽ホール

①浜松市長②浜松市③S造一部RC造5階建て延べ6,383㎡④中村組・須山建設・中村建設JV(建築)、日管・ハマネン設備センターJV(機械)、栄電気工業・東電設工業JV(電気)、ヤマハサウンドシステム(舞台)、遠鉄建設(外構)⑤21年3月⑥設計・監理(山下・中川JV)⑦川澄・小林研二写真事務所



蜂須賀 健太

## 演奏者として観客としても楽しめる市民音楽ホール

「音楽の都」浜松市において市民の文化活動や学習成果などの発表の場を創出するための音楽ホールの計画である。ホールと多目的室群の2つの大きなゾーンを設定することで、多彩な市民活動や大会に応える「一筆書きの回遊動線」と「活動が日常的に周辺に溢れ出る」身近な第2のホールとなる多目的ゾーンを実現し、利用者が演奏者としても観客としてもストレスなく「音楽活動を十分に楽しめる」ホールを目指した。

(中部支社設計監理部副グループ長)



産業技術総合研究所臨海副都心センター  
第二別館 サイバーフィジカルシステム研究棟

①国立研究開発法人産業技術総合研究所②東京都江東区③S造地下1階地上4階建て延べ3,062㎡④東洋建設⑤18年12月⑥基本設計、実施設計⑦エスエス



河野 泰造

## 「柔軟性」と「地域との親和性」を高めた研究施設

本研究棟は、AI技術の開発を行う研究施設である。将来にわたって常に最新の研究開発ができるよう「7.2m×8.4mモジュールの標準実験室+設備バルコニー」を1ユニットとし、それを反復した平面計画を基本とすることで、施設の柔軟性を高めた。また、設備バルコニー先端には再生木パネルを設け、断熱性能を高めるとともに、緑あふれる周辺環境と親和性の高いデザインとした。

(本社企画開発部主任)

教育施設

平塚市立相模小学校

①平塚市長②平塚市③RC一部S、SRC造2階建て延べ6,531㎡④SKD・甲斐組JV(校舎建築)、東光商会(同電気)、扶桑工業(同空調・衛生)、増田工業(プール建築)、ヒカリ電設(同電気)、川合工業所(同空調・衛生)、三菱電機(昇降機)、日本ビオトップ・たくしよくグリーン(外構)⑤21年12月⑥設計・監理⑦エスエス



新たな地域コミュニティを育む学校



李 雅如

敷地は、街が変貌する区画整備事業内にある。既存住宅地との接点に位置するため、新旧の住民を繋ぐ地域の施設の役割を加えた。フェンスを後退し住民や地域と学校の接点となる公園のような環境を前面通りに整備した。校舎の中庭も公園のような環境とし、児童の活動を繋ぎ合わせた。校舎の1階は校庭に直面した活動的な学習環境、2階は家型の屋根を活かした個性的な学習環境とし、校舎全体の多様性を生み出した。

(本社第3設計部主管)

白鷺足利中学校・高等学校

①学校法人白鷺大学②栃木県足利市③RC一部S・SRC造4階建て延べ1万1,395㎡④清水建設(施工)、藤田エンジニアリング(電気設備)、第一設備工業(機械設備)⑤24年1月(予定)⑥基本計画・基本設計・実施設計・設計工事監理⑦山下設計



建学の精神を具現化した空間—足利市の産業に貢献する木架構



坂本 達典



石塚 裕彬

足利市にある私立の中高連携校である。本計画では、学びへの興味を誘発するために、図書・情報・学習スペース=ラーニングcommonsを建物中央に据え、ここを学びの核とした。本学校は、約100年前に繊維の町の足利の産業に貢献したいという思いから裁縫学校を創立したことから始まる。そんな創立時の精神を空間化するために、平織をモチーフにした足利県産材の木架構により、ラーニングcommonsの屋根架構をつくった。

(坂本=本社第3設計部主任、石塚=構造設計部主任)



久留米大学看護学科

①学校法人久留米大学②福岡県久留米市③S造6階建て延べ7,111㎡④前田建設工業(施工)、九電工(電気)、テクノ菱和(空調衛生)⑤24年6月予定⑥設計・監理⑦山下設計



古元 晃子

中庭を核に交流が広がる新キャンパス

既存建物と囲まれた中庭を、開かれたキャンパスの核と位置付け、学生活動の場を中庭に面して配置した。外からも活動の様子が見える平面構成とし、中庭を介して活動の場が連続することで学生たちの交流を促し、さまざまな経験や知見に触れることのできる環境づくりを行い、全ての場所が教育の場となる新キャンパスを目指した。ZEB Readyを達成する校舎として計画し、認証を予定している。

(九州支社設計監理部部長)

①建築主②建設地③構造・規模④施工⑤竣工⑥業務⑦写真撮影



新潟第一中学校・高等学校

①学校法人石善学園②新潟市③RC一部S、SRC造7階建て延べ1万3,986㎡④本間組⑤22年12月⑥基本計画、基本設計、実施設計、設計工事監理⑦山下設計



坂本 達典

大きな屋根に包み込まれた学びの場

新潟市にある私立の中高連携校である。本計画では、主体的・対話的・分野横断的な学びを実現するために、学びの核となる図書室・PC室・視聴覚室をメディアセンターとしてまとめて配置し、特徴的なボルト形状の大きな屋根で包み込んだ。高天井の開放感と、包み込まれる安心感を同居させ、多くの生徒の集い場とすることで、様々な人・活動との出会い、学びを深める場とすることを目指した。

(本社第3設計部主任)



立命館大学BKC スポーツ健康commons

①学校法人立命館②滋賀県草津市③S造2階建て延べ4,824㎡④大成建設⑤16年9月⑥設計・監理⑦松村芳治



小原 信哉

「健康とスポーツ」をキーワードに大学と社会をつなぐ

立命館大学BKCの地域・社会との交流を重視する「フロントゾーン」の再整備の核となる運動施設(体育館+プール)である。みんなが利用でき、運動の習慣がない人にも運動を始めるきっかけを提供し、そして運動を共通のテーマとしながら運動しない人も共存できる居場所をつくった。さらに、地域に開かれた健康づくりの拠点として「健康とスポーツ」をキーワードに、大学と地域の新たな関係を生み出すことを目指した。

(関西支社設計監理部チーフアーキテクト)

# スポーツ施設・物流施設・生産施設



**グッドマン  
ビジネスパーク  
イーストゲート** 『ZEB』

①タカオ特定目的会社  
②千葉県印西市③S造  
4階建て延べ13万5,933㎡④銭高組(建築)、  
きんでん(電気)、東  
朋テクノロジー(空調・  
衛生)⑤20年10月⑥  
設計・監理⑦プライズ  
山崎浩治

## ビジネスパークのゲートとなるゼロエネルギー物流施設



伊谷 京亮 小松 耕太

イーストゲートは最先端の物流施設とデータセンターが集積するグッドマンビジネスパークに位置するマルチテナント型物流施設である。パークの中心を通る幹線道路の軸線上に設けたゲート型フレームと日射遮蔽スクリーンのファサードは、光により表情が変化するビジネスパークのランドマーク(ゲート)である。日射遮蔽、効率的な照明計画、太陽光発電等により、CASBEE Sランク、BELS5★、『ZEB』を達成している。  
(伊谷=本社第2設計部主管、小松=企画開発部主任)



## ならはスカイアリーナ

①檜葉町長②福島県檜葉町③SRC一部S、RC造2階建て塔屋1層延べ6,606㎡④前田建設工業(建築)、三共設備(再生可能エネルギー設備)⑤19年3月⑥基本設計、実施設計、工事監理⑦前田建設工業

## 町民の躍動感を纏った多世代交流施設



田村 翔

福島第1原発の事故を受けた檜葉町において、震災復興の一役を担う運動施設である。主空間となる1階はスポーツをする(活動)空間、2階は観覧席などからなるスポーツをみる(観覧)空間とし、双方は吹抜けを介して視線が交差する空間構成により、多世代交流のきっかけを提供している。外観はランニングコースが周遊する楕円型の建築形状によって、スポーツの躍動感を纏った、震災復興のシンボルを目指した。  
(本社第2設計部主管)



## 太平洋精工新本社工場

①太平洋精工②岐阜県大垣市③S造一部RC造(耐震構造)3階建て延べ3万2,967㎡④岐建(建築)、弘光舎(電気・空調・衛生)⑤20年10月⑥設計・監理⑦シンセン



## YSアリーナ八戸(長根屋内スケート場)

①八戸市長②青森県八戸市③RC一部S造地下1階地上3階建て延べ2万6,274㎡④清水・穂積・石上JV(建築)、関電工・京谷・久保田JV(強電)、開発・東洋・和井田JV(弱電)、菱和・サカモト・北奥JV(空調)、大成温調・テクノワーク・三久工業JV(衛生・製氷)⑤19年6月⑥設計・監理⑦エスエス



## 千代田区立お茶の水小学校・幼稚園

①千代田区長②東京都千代田区③RC造地下2階地上6階建て延べ1万3,798㎡④戸田・不動・ムカイJV(建築)、八洲・尼崎JV(電気)五建・東洋JV(衛生)、日管・三辰JV(空調)、日立ビルシステム(昇降機)⑤23年12月⑥設計・監理⑦山下設計



## 杉並区富士見ヶ丘小学校・中学校

①杉並区長②東京都杉並区③RC一部PC、SRC造4階建て延べ8,871㎡④小学校=白石・小原・江州・建和JV(建築)、栄新・東九JV(電気)、村田・セントラルJV(衛生)、新開・ユータイJV(空調)、三菱電機ビルソリューションズ(昇降機)⑤23年6月⑥設計・監理

左が施工中の小学校、右は中学校(施工者未定)

## これまでにない生産施設の追求した「オフィス×工場」の新しいカタチ



五十嵐 大介

オフィス、生産・研究エリアの最適化を図り、一般危険物取扱所となる建物を分棟化せず、一棟の建物として成立させている。最大の特徴は、オフィスと生産エリアの必要階高の差に着目した、スキップフロアの断面構成を採用している点となる。このスキップフロアは、日常的な動線上と絡めながら、吹き抜け空間とする事で、施設全体のコモンスペースとなっている。「オフィス×工場」だからできた施設計画となっている。  
(本社設計監理部主管)

## グローバルな「文化」を担う氷上スポーツの拠点



下村 龍治

本施設は国内3番目の世界水準の屋内リンクとして計画された。中心街に隣接した立地を活かし、日常的に開放する部分を連携させることで、市民に身近なスケート場となることを意図した。リンクは氷温を一定に保つ「CO<sub>2</sub>冷媒の採用」、屋根からの「遠赤外線を遮蔽する天井」など、氷質の安定に主眼を置いた。アリーナ部分は多目的なイベントスペースとしての利用が可能な計画とした。  
(東北支社設計監理部部長)

## 歴史と未来をつなぐ地域の拠り所となる環境づくり



荒木 了

老朽化した校舎・園舎の建替え計画である。大正時代には震災復興小学校として整備されるなど歴史ある計画地において、地域の誇りを尊重しながら都心特有の防災・防犯などへの課題に対応するため、免震構造の採用や隣接する公園との一体的運用が可能な配置計画とした。また周辺環境に対する視線配慮と環境負荷軽減に向けた外観形成を行うなど、次代を見据えた安全で快適な教育環境を目指した。  
(第2設計部主管)

## 都市公園に建つ、地域をつなぐ学校



李 雅如

敷地は都立高井戸公園に隣接し、地域の方の利用を積極的に取り入れ、豊かな学習環境を有する学校を目指した。防災力を高めるために、1階にピロティを設け、周辺地域と公園の連携動線を確保した。道路と校舎の間にはフェンスを設けず、公園のような環境を整備し、地域と学校の接点に配慮した。ランニングセンターは2層吹き抜けとし、多様な学習や体験、異学年の交流が可能な様々なスペースと仕掛けを配置した。  
(本社第3設計部主管)

斎場



広域静苑組合 越生斎場

①広域静苑組合②埼玉県越生町③RC造2階建て延べ2,643㎡④松井建設(建築)、九電工(電気)、大成温調(空調・衛生)⑤19年8月⑥設計・監理⑦ITイメージング

「お別れメゾネット」で過ごす癒しの斎場



戸塚 千尋

火葬待合中に火葬炉前の様子を伺うことができる、「お別れメゾネット」を提案、実現している。火葬に寄り添った専有性の高いお別れ空間である。火葬中、従来通り炉前に行くことは可能であるが、移動しづらい高齢者の方々も待合室から炉前の焼香台に置かれた遺影に手を合わせる事が可能となり、利便に故人を心ゆくまでお見送りすることのできるお別れ空間となり喜ばれている。

(本社第2設計部主任)



名古屋市立第二斎場

①名古屋市長②名古屋市③RC一部S・SRC造2階建て塔屋1層延べ1万4,993㎡④鴻池・徳倉・太啓JV(建築)、白川・東和JV(電気)、三晃・ダイトー・共栄水道JV(空調)、閑林・足立JV(衛生)⑤15年3月⑥設計・監理⑦エスエス

故人と会葬者とのお別れの時を緩やかにつなぐ斎場



猪俣 兼人

降旗 範行

名古屋市立第二斎場は、大規模な火葬場でありながらも、「故人を偲ぶ葬送の場としてのプライベート空間の実現」、「近隣住環境に配慮した豊かな街並みの創造」そして「少人数運営に対応する管理しやすい合理的な斎場の実現」を目指した。平面をコの字型に3分割し、前庭と一体的な「3つの斎場」に組み替えることにより、故人を偲ぶ大切な時を落ち着いて過ごすことのできる葬送の場を実現した。(猪俣一中部支社企画営業部部長/降旗一元所員)



三戸地区環境整備事務組合 三戸地区葬祭場

①三戸地区環境整備事務組合②青森県三戸町③RC一部木造平屋建て塔屋2層延べ1,221㎡④鴻池組⑤21年3月⑥設計・監理⑦グラスアイ

故人尊厳と遺族心情に配慮した三戸ならではの葬祭場



木村 完

葬祭場で大切なことは故人の終焉の場として親しんだ風景や土地の記憶が感じられ、地域の慣習に沿った葬儀が執り行われることと捉え、故人の尊厳を守り、儀式ごとに遺族の心情に配慮した三戸地域ならではの葬送の場をつくりあげた。地域の人々にとって親しみのある木を多用して冷たい・寂しいと思われがちな葬祭場のイメージを払拭し、連続する木の桁により厳粛な葬送の場を実現している。(東北支社チーフアーキテクト)



四市複合事務組合第2斎場 (しおかぜホール茜浜)

①四市複合事務組合②千葉県習志野市③RC一部S造2階建て塔屋1層延べ9,948㎡④松井・小田原JV(建築)、住友・日立JV(電気)、大成温調・ケイハイJV(空調)、川本・不二JV(衛生)、富士建設工業(火葬炉)、大有建設(外構)⑤19年6月⑥基本設計、実施設計、解体設計、解体工事監理、工事監理⑦エスエス

すべてに優しく思いやりのある斎場



三沢 守

船橋・習志野・八千代・鎌ヶ谷の4市が利用する馬込斎場の混雑緩和を図るため、式場を併設する斎場を新設。告別室・収骨室をユニットとし、各ユニットからの横移動を極力短くした2階待合室への縦動線を配置し、待合室へのサービス専用の廊下を設けるなど会葬空間の個別化を図った。波を想起させるインテリアデザインで茜浜での最後のお別れの場にふさわしい空間を目指した。(本社第2設計部シニアアーキテクト)